

J.S.バッハ: 無伴奏チェロ組曲 第1番 ト長調 BWV1007

J.S.Bach: Suite for Solo Cello No.1 in G Major, BWV1007

ブリテン: 無伴奏チェロ組曲 第1番 op.72

Britten: Suite for Cello No.1, op.72

J.S.バッハ: 無伴奏チェロ組曲 第3番 ハ長調 BWV1009

J.S.Bach: Suite for Solo Cello No. 3 in C Major, BWV1009

ムター、プレヴィンが最も信頼を置く、
ドイツ期待のライジング・スター。

DANIEL MÜLLER-SCHOTT

SOLO CELLO RECITAL

ダニエル・ミュラー＝シュット

無伴奏チェロ・リサイタル

2013 **2.12** (火) 18:30開場 | 19:00開演

浜離宮朝日ホール

[入場料(税込み)]

全席指定: 4,500円 学生券: 2,000円 <10/10(水)一般発売開始>

*学生券のお取り扱いにはパシフィック・コンサート・マネジメントのみです。

[お問い合わせ・お申し込み]

PCM パシフィック・コンサート・マネジメント

03-3552-3831 <http://www.pacific-concert.co.jp/>

*弊社ホームページより座席をお選びいただき、セブン-イレブンでのお支払・お受取が可能です。ぜひご利用ください(要登録)。

[プレイガイド]

朝日ホールチケットセンター 03-3267-9990

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

イープラス <http://eplus.jp/>

チケットぴあ 0570-02-9999

ローソンチケット 0570-000-407

CNプレイガイド 0570-08-9990

主催: 朝日新聞社 / パシフィック・コンサート・マネジメント

©Uwe Arens *やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がございますので、予めご了承ください。*就学前のお子様のご入場・ご同伴はご遠慮ください。

ダニエル・ミュラー＝シュットは、今日の若手チェリストの中で最も優れたチェリストの一人であり、安定した、純度の高い音色を持ち、パッサからブリテンまで幅広いレパートリーに対して天性的な勘でそのスタイルをものにするのできる音楽家である。

——2012年7月、テレグラフ誌



©Uwe Arens

ダニエル・ミュラー＝シュット | チェロ | Daniel Müller-Schott, Cello

ダニエル・ミュラー＝シュットは、同世代で世界的に最も優れたチェリストの一人であり、国際的に主要なコンサートホールのもとですべてに登場している。精力的な解釈、極めて優れた知性と感性が見事に融合した華麗なテクニックで、観客を魅了。サンデー・タイムズ紙は、彼の演奏には「再発見という魅力的な新鮮さがある」と評している。

世界の一流オーケストラと数多く共演。ヨーロッパでは、バイエルン放送響、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、ミュンヘン・フィル、パリ管、ハンブルク北ドイツ放送響(NDR)、フランクフルト放送響(hr響)、シュトゥットガルト放送響、ベルリン放送響、ライプツィヒ放送響(MDR)、フランス国立管、ロンドン・フィル、フィルハーモニア管、BBCフィル、アメリカでは、ニューヨーク・フィル、クリーヴランド管、シカゴ響、ボストン響、アジアでは、NHK響、台湾国家交響楽団、ソウル・フィル等と共演している。

指揮者では、ハイティンク、マリナー、プレヴィン、アシュケナーズ、デュワ、エッセンバハ、準メルクル、マズア、ギーレン、キタエンコ、オラモ、ダウスゴー、ノセダ、フルシャ、サラステ、A. デイヴィス、I. フィッシャー、A. ギルバート、E.G. イェンセン、C. ケーニヒ、V. ベルレンコ、M. ザンデルリンク、ウルバンスキ等と共演している。

ソリストとして活躍するほか、知られざる作品の発見やチェロのレパートリーの拡大にも積極的で、プレヴィンとルジツカからはチェロ協奏曲を献呈され、作曲家自らの指揮により初演を行った。

2012/13シーズンのハイライトは、ネルソンス指揮バーミンガム市響、マズア指揮フランス国立管、フェドセーエフ指揮チャイコフスキー響(モスクワ放響)、ウルバンスキ指揮ベルリン・ドイツ響等との共演や、エッセンバハ指揮ロンドン・フィルのドイツ・ツァーへの同行が予定されている。

国際的な音楽祭にも定期的に招かれており、例えば、ザルツブルク、ルツェルン、シュレスヴィヒ＝ホルシュタイン、ラインガウ、シュヴェツィンゲン、メクレンブルク＝フォアポンメルン、プロムス、アメリカでも、ラヴィニア、タングルウッド、アスペン等の各音楽祭に出演している。

録音も多く、オルフェオ、ドイツ・グラモフォン、ハイペリオン、ペンタトーン、EMIクラシックスの各レーベルからリリースされている。聴衆からも批評家からも絶賛されており、ディアバズン・ドール、グラモフォン誌のエディタース・チョイス、ストラッド・セレクション、BBCミュージック・マガジンの「今月の一枚」等、数多くの賞に輝いている。2013年のブリテン生誕100周年には、サラステ指揮WDR交響楽団とブリテンとプロコフィエフのチェロ交響曲集を、フランチェスコ・ピテモンテージとプロコフィエフ、ブリテン、ショスタコーヴィチのソナタ集をリリースする予定である。

ミュラー＝シュットは1976年11月ミュンヘン生まれ。ワルター・ノータス、ハインリヒ・シフ、ステイーヴン・イッサーリスに師事し、アンネ＝ゾフィー・ムター財団から奨学金を得る。また、1年間ムスティスラフ・ロストロポヴィチから個人的に教える。1992年、15歳で「若い音楽家のためのチャイコフスキー国際コンクール」で優勝し、国際的に注目を集めた。また、器楽奏者および音楽家の新しい世代に対する支援活動に継続的に関わっている。

使用楽器は1727年製マッテオ・ゴフリラー「Exシャビーロ」。



朝日新聞東京本社・新館2階 (TEL 03-5541-8710)
都営大江戸線・築地市場駅下車A2出口3分

その他の交通

築地駅：東京メトロ日比谷線(1、2番出口)より徒歩約8分
東銀座駅：東京メトロ日比谷線/都営浅草線(6番出口)より徒歩約8分
汐留駅：都営大江戸線(新橋駅方面改札口)/新交通ゆりかもめ(改札口)より徒歩約10分
新橋駅：JR(汐留口)/東京メトロ銀座線(1、2番出口)/都営浅草線(改札口)より徒歩約15分

ダニエル・ミュラー＝シュット(チェロ)

Daniel Müller-Schott



最新アルバム

ブリテン： 無伴奏チェロ組曲 第1～3番

録音：2009年&2010年7月、
ミュンヘン

●ORFEO 835111

メンデルスゾーン：チェロとピアノのための作品集
ジョナサン・ギラード(ピアノ)
●ORFEO 750101 / 録音：2009年7月、バイエルン・スタジオ

シューマン & フォルクマン：チェロ協奏曲
ブルッフ：コル・ニドライ、他
クリストフ・エッセンバハ(指揮)、北ドイツ放送交響楽団
●ORFEO 781091 / 録音：2007年7月、北ドイツ放送ロルフ・リールマン・スタジオ

J.S. パッサ：3つのヴィオラ・ダ・ガンパ・ソナタ
C.P.E. パッサ：ヴィオラ・ダ・ガンパと通奏低音のためのソナタ二長調
アンジェラ・ヒューイット(ピアノ)
●ORFEO 693071 / 録音：2006年7月

エルガー & ウォルトン：チェロ協奏曲
アンドレ・プレヴィン(指揮)
オスロ・フィルハーモニー管弦楽団
●ORFEO 621061 / 録音：2005年8月

ショスタコーヴィチ：チェロ協奏曲第1番、第2番
ヤコフ・クライツベルク(指揮)、バイエルン放送交響楽団
●ORFEO 659081 / 録音：2005年9月、ヘルクレスザール

ハイドン：チェロ協奏曲第1番、第2番、他
●ORFEO 080031 / 録音：2001年10月、ノンマウスチャー、
ニンバス・コンサートホール

直輸入盤/オープンプライス